

平成25年住宅・土地統計調査の結果(確報)の概要について

統計課人口労働担当

1 調査の概要

(1) 概要

住宅・土地統計調査は、住宅及び住宅以外で人が居住する建物に関する実態並びに現住居以外の住宅及び土地の保有状況その他の住宅等に居住している世帯に関する実態を調査し、その現状と推移を全国及び地域別に明らかにすることにより、住生活関連諸施策の基礎資料を得ることを目的としており、全国約350万住戸・世帯、本県では約9万2千住戸・世帯を対象に抽出調査を行い、推計した。また、本調査は昭和23年以来5年ごとに実施し、今回はその14回目に当たる。

なお、確報は、平成27年2月26日に総務省から公表された。(都道府県ごとの結果は、総務省から順次公表され、本県に関する確報は平成27年1月20日に公表された。)

(2) 調査の時期

平成25年10月1日現在

(3) 調査の方法

調査員が各世帯を訪問して調査票を配布し、後日収集する方法による。また、今回は、調査票の提出に代えてインターネットによる回答(オンライン調査)も可能とした。

【参考】調査系統(調査の流れ)

総務省統計局 → 県 → 市町村 → 指導員 → 調査員 → 世帯

2 調査結果の概要(本県分)

(1) 住宅・世帯の状況

総住宅数は126万8,200戸で増加が続く。

総世帯数は108万1,200世帯で増加が続く。

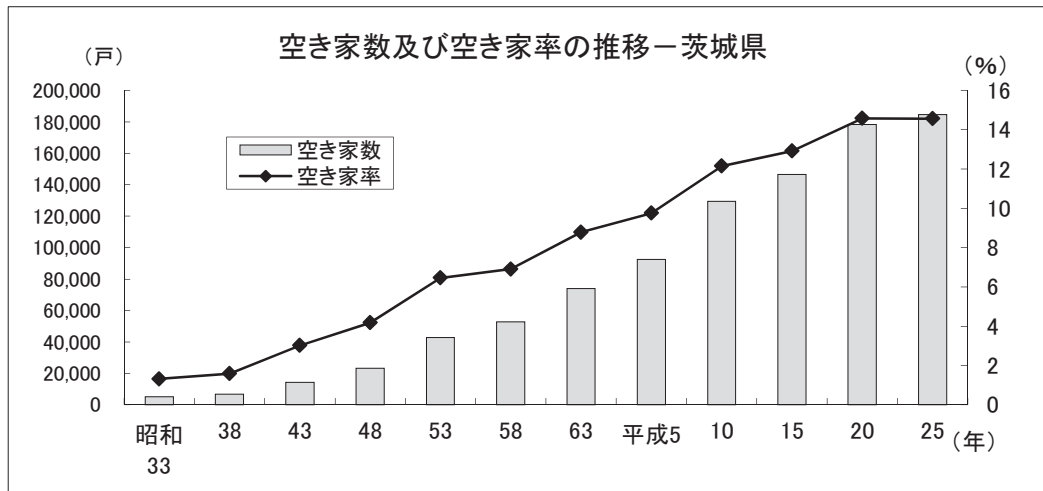
- ① 総住宅数は前回調査(平成20年)に比べ4万4,400戸、3.6%増加。
(全国は5.3%の増加)
- ② 総世帯数は前回調査に比べ4万1,000世帯、3.9%増加。
(全国は5.0%の増加)
- ③ 1世帯当たりの住宅数は、前回調査と比べてほぼ横ばい。
(前回1.18戸、今回1.17戸。なお、全国は1.16戸)

(2) 居住世帯の状況

空き家は18万4,700戸で、前回調査(平成20年)に比べ6,300戸増加した。

空家率は14.6%で前回調査と同率。

- ① 総住宅数のうち、居住世帯のある住宅は107万6,100戸(84.9%)、空き家、建築中の住宅など居住世帯のない住宅は19万2,100戸(15.1%)。
- ② 居住世帯のない住宅の内訳は、空き家は18万4,700戸で、前回調査に比べ、6,300戸増加。総住宅数に占める空き家数の割合(空家率)は14.6%で、前回と同率であった。



(3) 住宅の建て方

居住世帯のある住宅のうち、約1/4が共同住宅。前回調査と比べ、1戸建が4.1%、長屋建が24.3%、共同住宅が2.0%それぞれ増加した。

- 居住世帯のある住宅を建て方別にみると、一戸建は79万1,300戸（73.5%）、長屋建2万1,500戸（2.0%）、共同住宅26万2,100戸（24.4%）、その他1,200戸（0.1%）。

(4) 住宅の構造

木造住宅（防火木造を含む）が76.0%を占め、全国の57.8%と比較して木造の割合が高い。

- 居住世帯のある住宅を構造別にみると、木造38万8,800戸（36.1%）、防火木造42万9,000戸（39.9%）、鉄筋・鉄骨コンクリート造15万4,200戸（14.3%）、鉄骨造10万2,900戸（9.6%）。

※防火木造の住宅とは、骨組み、壁、屋根などに木造部分が露出していない住宅をいう。

(5) 住宅の所有関係

持ち家率は71.3%で前回調査と比べてやや上昇した。

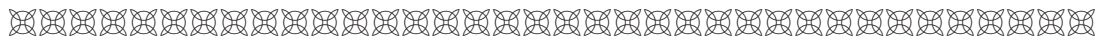
- ① 持ち家は76万7,700戸で、居住世帯のある住宅全体に占める割合（持ち家率）は71.3%となっており、前回調査の70.7%と比べてやや上昇している。
- ② 全国の持ち家率は61.7%であるので、本県はこれを9.6ポイント上回っている。

(6) 住宅の規模

専用住宅の規模は、居室数で横ばい、畳数・延べ面積でやや増加した。

- ① 居住専用に建築された「専用住宅」について、1住宅当たり居室数、居室の畳数及び延べ面積により住宅の規模をみると、1住宅当たりの居室数は5.09室、居室の畳数は37.10畳、延べ面積は107.31㎡となっており、前回と比べ居室数で横ばい、居室の畳数で0.69畳、延べ面積で1.09㎡それぞれ増加した。
- ② 本県の専用住宅のうち、持ち家の1人当たり居室の畳数は14.84畳である。

■統計の窓



(7) 東日本大震災の影響

被災箇所の改修工事をした持ち家数は13万1,300戸であった。

- 東日本大震災による被災箇所を改修工事した持ち家数は13万1,300戸で、宮城県の12万4,500戸、福島県の8万6,700戸を上回っていた。

(8) 住宅の敷地面積

1住宅当たりの敷地面積は424.79㎡と全国1位を維持したが、前回調査と比べるとやや減少した。

- 1住宅当たりの敷地面積は424.79㎡（前回：428.52㎡）、一戸建住宅の1住宅当たりの敷地面積は433.86㎡（前回：436.35㎡）といずれも前回調査と比べやや減少した。

【参考】統計表（全国との比較）

総住宅数、世帯の状況、空き家の状況

	総住宅数 (戸)	総世帯数	1世帯あたり 住宅数	居住世帯 あり	居住世帯 なし	うち空き家 (戸)	空き家率 (%)
全 国	60,628,600	52,378,600	1.16	52,102,200	8,526,400	8,195,600	13.5
茨城県	1,268,200	1,081,200	1.17	1,076,100	192,100	184,700	14.6
(H20前回結果)	1,223,800	1,040,200	1.18	1,036,200	187,600	178,400	14.6

住宅の建て方

	一戸建 (戸)	割合 (%)	長屋建 (戸)	割合 (%)	共同住宅 (戸)	割合 (%)	その他 (戸)	割合 (%)
全 国	28,598,700	54.9	1,288,600	2.5	22,085,300	42.4	129,500	0.2
茨城県	791,300	73.5	21,500	2.0	262,100	24.4	1,200	0.1
(H20前回結果)	759,800	73.3	17,300	1.7	257,000	24.8	2,100	0.2

住宅の構造

	木造 (戸)	割合 (%)	防火木造 (戸)	割合 (%)	鉄筋・鉄骨 コンクリート (戸)	割合 (%)	鉄骨造 (戸)	割合 (%)	その他 (戸)	割合 (%)
全 国	13,263,000	25.5	16,845,300	32.3	17,664,800	33.9	4,188,100	8.0	140,900	0.3
茨城県	388,800	36.1	429,000	39.9	154,200	14.3	102,900	9.6	1,200	0.1
(H20前回結果)	429,500	41.4	360,300	34.8	157,600	15.2	86,700	8.4	2,100	0.2